

ミックスジュース

学級通信
鯉沢中3年生
2019年2月26日
No. 39
来週の今日は
後期入試の日です



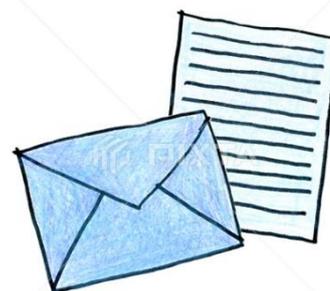
最後の道徳「二通の手紙」～きまりの意義～



読み物について

動物園の模範的な職員だった元さんが、幼い姉弟への同情からきまりを破り、入園時間を過ぎた園に姉弟を通してしまいます。その結果、姉弟を危険にさらし、多くの人に迷惑をかけてしまいます。最終的に元さんは動物園を自ら辞めていきます。

誰しも、元さんに同情したい気持ちをもつと思いますが、個人的な感情できまりを破ることは、ときに社会の秩序を乱し、他者の権利を奪ってしまうこともあるのです。



元さんが晴れ晴れとした顔で、自ら動物園を辞めたのはなぜだろう？

- ☪ 時間が遅くなると暗くなり、子どもだけだと事故につながるかもしれない。そうになると動物園も責任を負いきれなくなってしまふ。元さんは、この事件を通して、思いやることの大切さだけでなく、きまりの大切さをしっかり確かめることができた。だから、晴れ晴れとした顔で辞めていったのだと思う。
- ☪ 動物園のきまりは、万が一のことがあったら困るからある。ケガならまだしも、命が関わったら責任を負えないから。かわいそうだからなんて生やさしさが大きな事故を生んでしまふ。断ることが本当のやさしさだったかもしれない。
- ☪ 元さんは、この年になってきまりの重要性を考えさせられ、きまりの意義を理解して、新たな出発ができそうだから。
- ☪ 動物園のきまりは人に迷惑をかけないためにあるから、誰にどんな事情があろうとも破ってはいけない。それを元さんは理解していたが、きまりを破って職を失っても、子どもたちの笑顔が見れたので晴れ晴れとしていた。

きまりを守らなかつたり、破つたりする人が多いとどんな世の中になるか？

- ☪ きまりを守らないと、荒れ狂う世界になり、最悪戦争になってしまう。「二通の手紙」の中では、元さんの行為は親切だと思うが、きまりを破ったことには違いない。
- ☪ 自己中心な判断で行動するから、みんなで協力する活動ができなくなる。きまりがあるからこそ、人と人が協力できて、まとまりのあるクラスになることができる。

